

令和元年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表

校 訓	
一 質実・剛健、一 誠実・堪能、一 積極・真摯	
中・長期的学校目標	
1 農業や関連産業の持続可能な発展及び地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。 2 農業の持つ教育力を最大限に活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。	
本年度の重点目標	
<p>「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくりを目指す 農の学びを主軸に「いのち・こころ・夢を育む教育」を推進する</p> <p>1 地域に開かれた信頼される学校づくり（教育全体） 2020年（令和2年）の創立100周年に向けて、幾多の歴史と伝統を礎に、科学性・社会性・指導性を高める農業教育や地域連携・交流活動等の実践教育をとおして、南信州の地域創生に寄与する産業人を育成するために、「地域に開かれた信頼される学校づくり」を目指す。</p> <p>2 安全・安心を基盤とした環境づくり（生徒指導） チーム学校として連携・協働し、生徒相互に共感的人間関係を形成するとともに、安心できる居場所づくりをとおして、いじめや暴力・非違行為のない安全・安心な明るく楽しく学べる校風を醸成するために、「安全・安心を基盤とした環境づくり」を目指す。</p> <p>3 自己指導能力を高める心づくり（生徒指導） 社会性のある基本的生活習慣を確立させ、マナー・規範意識や人権感覚を涵養するとともに、「個を観て、個と向き合い、個を伸ばす」視点で生徒理解に努め、「自己決定の場」や「自己存在感」を与え、生徒自らが自己実現を図るために、「自己指導能力を高める心づくり」を目指す。</p> <p>4 新たな学びに転換する授業づくり（学習指導） 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、自発的・探究的な学習態度を身につけ、思考力・判断力・表現力や課題解決能力・創造力の育成に努めるとともに、ICT等を利活用した学びのイノベーション（授業改善）により「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「新たな学びに転換する授業づくり」を目指す。</p> <p>5 夢に挑戦する人づくり（進路指導・キャリア教育） 農業教育の特性を活かした専門的・実践的な学習活動をとおして、進路実現に必要な学力を身につけ、職業観を養い進路意識を高めるとともに、自分の人生を構想する力と新たな社会を創造する力を培い、よりよい人生を送るために、「夢に挑戦する人づくり」を目指す。</p>	

評価項目	評価の観点
農業教育を充実させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の必要性や素晴らしさを生徒に伝えることができたか。 ・「グローバル・アグリハイスクール宣言」や「長野県における新たな農業教育の方向性について(提言)」を実現するために、新たな教育実践ができたか。
資格取得を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が資格取得に興味関心を示し、生徒一人ひとりが2種類以上の資格取得に取り組むことができるように指導することができたか。 ・講習会や補習を充実させ、合格率8割を目指すとともに、生徒にとって満足いく成果が得られたか。
学習意欲を向上させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を向上させるため、校外実習や外部講師による授業を行ったり、ICT機器等を利用したりするなど、授業内容を工夫し実践することができたか。 ・生徒にとって分かりやすい授業を実践することができたか。 ・また、理解できない生徒に対して事後指導がしっかりできたか。
進路希望を実現させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合った計画的指導ができたか。 ・進路が多様化する生徒に対し情報提供が十分かつ的確にできたか。 ・進路実現のための学習指導や補習が十分できたか。 ・生徒が希望する進路を実現することができたか。
地域を理解し、地域との連携を深めるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が意欲的に参加し、活動した取り組みであったか。 ・地域の文化を取り入れた内容の活動を行い、地域文化を理解させることができたか。 ・実施した取り組みが、相手や地域の理解と評価を得られたか。
基本的生活習慣を確立するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「身だしなみ」をきちんとする指導の実践ができたか。 ・問題行動を未然に防ぐ予防的指導ができたか。 ・集会の時は迅速に集合・整列し、整然とした集会を実施することができたか。 ・気持ちよい挨拶を習慣づけることができたか。 ・校内外の清掃活動を通して、ゴミの分別を徹底させ、リサイクルの必要性について認識させることができたか。 ・時間のけじめをつけさせ、休み時間の有効活用によるスムーズな授業開始や遅刻をなくす指導ができたか。 ・いじめを許さない学校作りを進め、生徒が発する小さなサインを見逃すことのない指導ができたか。
課外活動を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が課外活動に積極的に参加し、活動することができたか。 ・個々の生徒が目標とする成果をあげることができたか。
安全教育を推進するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育に対する研修の機会を設け、それに参加することができたか。 ・あらゆる場面で、生徒の安全を意識した教育活動を実践することができたか。

